

# 文化七尾



第64号



---

ここ七尾西湾は朝風の牡蠣棚越しに日の出が撮影できるということで、風景カメラマンには格好の撮影スポットになっています。全国津々浦々からここへ撮影に来られ、今や全国的な撮影地となりました。特に冬の寒い朝には気嵐も出て幻想的な風景になる場所です。

写真：古澤 久良（写団のと） 撮影地・中島町

---



# 七尾市文化協会賞



**【文化賞】**  
〈部門〉民謡民舞  
〈所屬〉七尾まじろ保存会  
川島 博章氏

昭和32年七尾まじろ愛好会に入会、その後保存会員として踊りの指導、普及のため市内をはじめ県内外に出向き尽力された。また踊りの振付、扇子の扱い、挨拶の所作等の統一を図り後継者の育成に努める。令和元年より会長職に就任。



**【文化賞】**  
〈部門〉美術工芸  
〈所屬〉一聖会  
元橋 範子氏

平成4年一聖会創立と同時に入会、近年は副理事長に就任し会員への気配りと活動に努めている。日本書芸展特選、読売書法展会友入選など国、県、市の各種展覧会において数々の賞を受賞している。



**【文化賞】**  
〈部門〉学芸  
〈所屬〉能登ホトトギス探勝句会  
赤島 磨智子氏

平成7年さつき句会に入会、同26年ホトトギス同人に推挙され、現在は「七尾文芸のつどい」「能登あかくら山田鶴浜俳句大会」の選者にあたっている。平成20年あらうみ誌同人、平成23年犀星俳文学賞受賞。



**【文化賞】**  
〈部門〉美術工芸  
〈所屬〉七尾美術作家協会  
佐々波 啓子氏

金沢美術工芸大学在学中より人物画を中心に画術を磨き、昭和57年光風会展初出品、平成7年日展初出品以後毎年出品され、油絵の研鑽を重ね光風会奨励賞、日展特選等の受賞をされた。





め上位入賞を得た。  
の各大会において大臣賞をはじめ  
術向上を図り、全国、北陸、県  
てきた。その間、会員相互の技  
化行事を盛り上げ



も欠くことなく展  
覧会を開催し、文  
昭和26年七尾菊  
花会を結成以来今  
日まで70年間一  
度も欠くことなく展  
覧会を開催し、文  
化行事を盛り上げ



〔文化賞〕  
〈部門〉園芸  
活動歴70年  
七尾菊花会  
会長 坂井 助光氏

成に努めている  
に尽力された。現在は若手の育  
民俗フェスティバルに七尾市民  
俗舞踊団として参加し国際交流  
に尽力された。現在は若手の育  
成に努めている



〔文化賞〕  
〈部門〉民謡民舞  
〈所屬〉青柏民謡会  
兼生 清寿氏



〔功勞賞〕  
〈部門〉華道  
〈所屬〉小原流豊樹会  
清水 貞江氏

昭和39年より小原流いけばな  
教室の講師となられ、平成、令  
和と57年間小原流専門教授者  
として伝統ある日本文化の素晴  
さを伝えてこられ小原流金沢支  
部研究会より優秀賞、家元賞な  
どを受賞した。



〔功勞賞〕  
〈部門〉学芸  
〈所屬〉筭伯会  
山口 政支氏

会発足以前から等伯作品を調  
査し、発足後は等伯の紹介を兼  
ねた美術館の建設に尽力され、  
平成7年に七尾美術館が建設さ  
れると国宝「松林図屏風」の招  
致に奔走し開館10周年記念事業  
として実現された。

## 令和4年 新春の集い

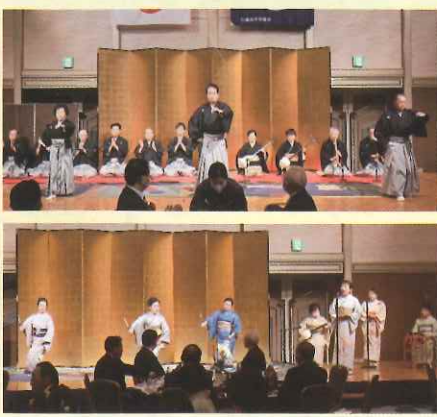
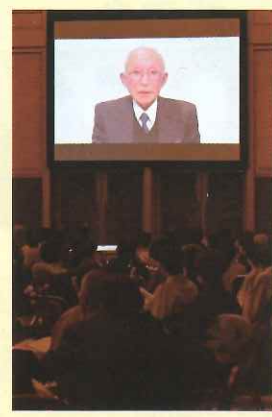
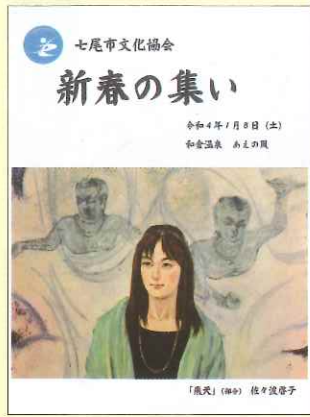


去る1月8日(土)、「令和4年新春の集い」が会員等180余名の参会により開催されました。

今年は、鈴英会英桃太郎氏による祝賀の舞「青海波」で幕を開け、会長中西清一が挨拶、続いて茶谷義隆七尾市長ほか来賓の祝辞、七尾市の姉妹都市である丸亀市文化協会・岩崎会長のビデオメッセージの後、佐藤喜典七尾市議会議長が乾杯の発声をし、今年一年の活躍を祈念しました。

アトラクションでは七尾まだら保存会、青柏民謡会による演目が催され、新春らしい華やいだ雰囲気となりました。また、葉には文化賞佐々波啓子氏の作品を掲載し、宴に華を添えていただきました。

コロナ禍での自粛を経て2年ぶりの開催となり、会員同士の親睦がより深まった新春の集いとなりました。





## 七尾支部

10月から11月にかけて、七尾支部の13団体が参加しました。コロナ対策を十分に講じた上での開催で会員同士の意思疎通が図られて、コロナ禍という大きな試練を乗り越えての開催でした。この経験は今後の活動の大きな財産になると思います。



## 田鶴浜支部

田鶴浜支部の3団体が其々の会場で市民文化祭に参加しました。陶芸教室は初心者も参加して和気あいあいと、山野草展示は老爺柿や紅葉盆栽など秋らしい作品を展示し、将棋大会は会員同士の対戦を楽しみました。

今後も田鶴浜で活動されている皆さん、そしてこれからを担う子供たちと共に、楽しい文化活動を築いていきたいものです。



## 中島支部

「活かそう!中島の文化」を活動テーマとし昨年10月30日～31日の2日間中島文化センター研修室、能登演劇堂ホール及びびろビーにおいて開催されました。前回同様にコロナ感染拡大防止対策を周知する中11団体が参加し、日頃の練習の成果を十分に発揮されるとともに、特別交流展示に田鶴浜支部より陶芸工房田鶴海及び俳句会が参加し華を添えていただきました。



## 能登島支部

11月7日から9日までの3日間、のどしまふれあいまつりで能登島支部の文化祭が行われました。

晴天にめぐまれ、屋外ステージでの大正琴の発表や絵手紙、陶芸、生け花などの室内展示も多くの方に見て頂くことができました。

年に一度、文化祭で会員同士の交流を深め、また、少しでも次世代につなげる事ができる様に、これからも地域での文化活動を続けていきたいと感じました。







「農的生活」を実践し、「農民版画家」として活動されている、のと木版画工房 鈴木敏治さんの作品を紹介します。

## ～能登・七尾との縁～

私が生まれたのは、神奈川県茅ヶ崎市の内陸部で、畑の多い風景を眺めながら育ちました。しかし、都市化が進みその風景はだんだんと失われるようになり、とても残念に思っていました。

そこで、早期退職をして農業に携わろうと決心しました。移住先には、妻の実家が輪島ということで能登とのご縁があり、この七尾を選んだのです。

私は学生時代から美術に親しんでいました。木版画の制作を始めたのは、23歳の時に棟方志功さんの講演をお聴きし、大きな感銘を受けたことからでした。この出会いから、早五十余年がたとうとしています。今の私の創作活動において、輪島で見た冬の日本海の白と黒の世界の魅力が大きく影響しています。



## 農民版画家・鈴木敏治「版画で“ふるさと”考」展

日時：令和4年2月28日（月）～3月11日（金）（土、日曜は休み）

9:00～18:00（最終日は15:00まで）

場所：のと共栄信用金庫本店 ギャラリー「かわも」 ※入場無料

生まれ育った地、旅先など“ふるさと”を感じるところを版画作品と文章展示により、“ふるさと”とは何だろうかを考える場とします。



令和2年度

# 「七尾ふるさと文化の創造」奨励支援事業

## 七尾の祭り

写団のと

写団のとは主に能登の習俗、伝統、文化や風景を写真を通して発掘・発信しています。今回は特に「七尾の祭り」をテーマとした作品を会員それぞれが撮影し、48点の作品が集まりました。その目録を作成し、11月にのと里山里海ミュージアムにて写真展を開催しました。

今後も写真を通して能登・七尾の良さを広く多くの人に知ってもらい地域の発展に貢献していきます。



(撮影：石橋 良和 撮影地：七尾市若林町)

## 赤倉山の土の息吹—歴史の土と牡蠣釉を活かしたふるさと陶芸創出—

陶芸工房 田鶴海

ふるさとの資源を活かした陶芸作品を創出しようと、令和2年8月より田鶴浜・赤倉山の土を採取。砂の成分が多く扱いが大変でしたが試行を重ね、志野焼のような味わいのある作品が完成しました。作成にあたっては田鶴浜高校美術部の生徒のろくろ体験を実施するなどの共同制作を行いました。3月には田鶴浜地区まちづくり協議会の展示部門展に出品し多くの方にご覧いただきました。



## 第48回七尾市民音楽祭&第16回能登合唱祭

### 「コロナ後に向けて音楽を取り戻そう!!」

コロナ禍のため2年間も延期になっていた「第48回七尾市民音楽祭」と「第16回能登合唱祭」を同時に開催します。長かった自粛を乗り越えて演奏したい、歌いたいという気持ちを思いっきり表現したいと願って練習に励んでいます。

音楽を愛し、応援して下さる皆様のご来場をお待ちしています。私達演奏者と一緒に生の音楽を楽しみましょう。

**開催日** 令和4年3月27日(日) 13時開演 **会場** 七尾市文化ホール 大ホール

#### 【出演団体】

七尾吹奏楽団  
ハーラウフラオ ナーナイハレ 古典フラプアリリ  
歌謡 小菊会  
俊友会合唱団  
女声合唱団ドルチェ・ママ

#### 【ゲスト】

珠洲市民合唱団  
石川県立七尾高等学校合唱部  
WISH

**入場無料**

主催 七尾市文化協会  
共催 七尾市教育委員会  
主管 七尾市民音楽祭実行委員会



※諸事情により、行事・イベントは中止・変更の場合があります。



## 令和2年度 協働・異文化交流活動奨励支援事業

ふるさと賛歌「七尾の心」啓発活動団

清和流剣と舞

歌謡小菊会

女声合唱団ドルチェ・ママ

私たち3団体は令和元年度の同事業で創作・作成したCD「七尾の心」の広報活動を展開し、市民に七尾の魅力を認識していただくための普及活動を推し進めました。

令和2年度は特に、コーラス調（ドルチェ・ママ）、演歌調の男声、女声独唱（歌謡小菊会）にアレンジしたり、踊りを群舞、影舞として練習を重ね相乗効果をもたせたりするなど工夫を凝らしました。



## 「七尾城を詠む」と題して

能登川柳会

令和2年9月、桜の馬場から七尾城本丸跡へ登って景色や空気を味わい、のと里山里海ミュージアムで勉強会を行いました。10月には各自の句を集めて冊子を制作。12月ミナクルにて「七尾城を詠む」と題して作品展を行いました。

目的をもって城山に登ることで貴重な経験となり、吟行に心躍る様子が句集にもうかがえました。今後も時には吟行を行い、健康に気をつけて作句を楽しみたいと考えています。



## 第19回 ふるさと民謡まつり

〈海山・等伯・七尾城〉 等伯に寄す 粹の極み

七尾の民謡3団体（七尾民謡会、青柏民謡会、城山民謡会）が年に一度、一堂に会し歌って踊る民謡の祭典『ふるさと民謡まつり』。皆様に感謝と元気を届けられるよう「うたまつり」を開催します。今回は特に、数々のタイトル保持者で石川の若き民謡歌手、吉田菜央美さん、そして七尾で活動中の合唱団WISHによる「等伯のころ」等新曲披露などもりだくさんです。

日時 令和4年4月3日（日）正午開演

場所 七尾市文化ホール 大ホール

入場無料

主催 七尾市文化協会  
共催 七尾市教育委員会  
後援 北國新聞社  
主管 ふるさと民謡まつり実行委員会  
青柏民謡会



※諸事情により、行事・イベントは中止・変更の場合があります



事業名	日時	主催者・会場名	内容
ピアノ学習者と指導者のための音楽歴史紀行 第10回 総集編 「時代とともに変わる音楽の世界」	3月13日(日) 13:30~16:30	主催 能登ピアノレスナー会 会場 七尾市文化ホール 大ホール	ピアノ学習者、指導者と愛好家のための音楽の歴史をたどるシリーズです。今回は総集編として辻井雅子先生による特別講演「ピアノ 教育と子どもの成長」ピアニスト沼澤淑音氏によるレクチャーコンサート「バロック〜古典派〜ロマン派〜近現代」です。 一般、こども 1,000円 親子ペア 1,500円 通し券のみ ※要申込 ☎090-8263-0913 中田 裕子
第19回 石川県NOTO ピアノコンクール 入賞者演奏会	3月20日(日) 13:00~17:00	主催 石川県NOTOピアノ コンクール実行委員会 会場 七尾市文化ホール 大ホール	昨年8月に行われた石川県NOTOピアノコンクールの幼児部門をはじめ小・中・高・大学・一般部門で入賞された方々の演奏会です。 入場料/無料 ☎53-0001 石川県NOTOピアノコンクール事務局株ミヤコ内 平野
第5回 加地求 洋画教室展	4月18日(月) ~4月22日(金) 9:00~18:00 (最終日は15:00まで)	主催 加地求 絵画教室 会場 のと共栄信用金庫本店 ギャラリーかわも	昨年3月の第4回展以降に制作した作品を教室に通う10人が展示発表します。テーマは春(3~5月)で計30点ほどを展示する予定です。 入場料/無料 ☎52-1613 加地 求(教室主宰)
しのぶえコンサート 笛の音に誘われて	5月22日(日) 15:00~16:30	主催 篠笛なかじま愛好会 会場 能登演劇堂	篠笛の発表、普及のためのコンサート 篠笛 八木 繁 箏 能村利恵子 八木 粹久 打楽器 山田 のぶ 八木 粹香 ギター 垣田 堂 八木 粹蝶 八木 粹寿 入場料/無料(整理券発行) ☎66-2878 中島あん庵

※諸事情により、行事・イベントは中止・変更の場合があります。

## 第54回 七尾文芸のつどい 開催案内及び作品募集

◆日時 令和4年6月25日(土) 午後1時開会

◆会場 七尾市文化ホール 第12、13、24会議室

題 [短歌] 自由詠 ※応募数 1首

募集期間 令和4年3月1日(火)~31日(木)必着

[俳句] 兼題「紫陽花」「蚊」  
※応募数 通じて5句以内

応募方法 必ずハガキでご応募ください

[川柳] 宿題「解除」「叫ぶ」「ワイン」  
※応募数 各題3句以内

応募先 〒926-0021 七尾市本府中町モ64

七尾市文化協会

「七尾文芸のつどい」係宛て

## ケーブルテレビななおで放映

今年度の七尾市民文化祭では、ケーブルテレビななお(ニコニコちゃんねる)に依頼して寺口理事長の挨拶と5団体の紹介映像を作成し、情報コーナーでの放映を行いました。団体の活動風景や市民文化祭への意気込みをご紹介し、文化祭をPRしました。



発行 七尾市文化協会

〒926-0021  
七尾市本府中町モ64池田家内  
TEL 53-0596 FAX 54-8550  
Eメール: mail@bunka-nanao.jp  
ホームページ: http://www.bunka-nanao.jp

編集委員 坂井善久 宮本哲子、豊島綾甫  
発行日 2022年2月25日

会員のみなさまへ

※『文化七尾』次回は令和4年9月発行予定です。

表紙題字: 清水 聖鵬